



寒工高改築工事かわら版

工事についてお気づきの点がありましたら、右記にご連絡ください。

第26号

旧校舎の内部解体工事を行っています。



先月からの好天続きで、非常に暑い日もあり、早くも熱中症対策が必要なようです。梅雨時期は、実は熱中症になることが多いようです。まだ、体が暑さに慣れていないからと聞きます。降雨対策も一緒に考えていこうと思っているところです。

さて、現場の方は、先月末から着手しました内部解体工事を行っています。場内の搬出ルートを確保するために、南側校舎の一部を解体するべく、内装の解体を行い、足場を組んで、上部躯体の解体へと進んでいきます。

解体による騒音や振動、また、解体材搬出の大型車両の出入りが続きますが、安全に工事を進めて参りますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。

(左写真) R6.5.27南側上空より

◆旧校舎の思い出グラフィティ

解体前に撮影した旧校舎の写真をお届けします。生徒の皆さんが朝夕必ず通る昇降口、歩くとギシギシと音が鳴る教室、廊下の掲示物、風でガシャガシャとなるシャッターなど懐かしい場面があるのではないのでしょうか。



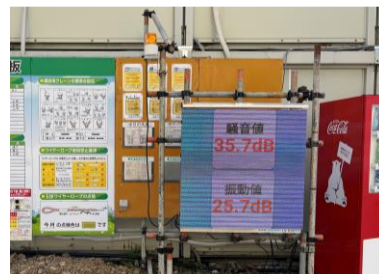
◆騒音、振動計を設置しました

解体工事で発生する騒音、振動を監視するために、環境モニタリングシステムを設置しました。

騒音と振動を測定器で、作業中は常に測定し、規定値を超えるとランプとブザーで作業員に知らせ、また、現場員と職長さんにはメールで通知するようにしています。



☞騒音、振動計



☞モニター、ランプ

- 騒音基準値85dB… 直近の救急車のサイレンやパチンコ店内の音などきわめてうるさい
- 振動基準値75dB… 震度3程度で屋内の人は大半が気付き、寝ている人も起きるくらい



「脱水・熱中症」に注意！

暑い日が多くなりました。体が暑さに慣れておらず、順応できなくなり、屋外、屋内を問わず、温度や湿度が高い環境下にいると、体内の水分塩分バランスが崩れて、体温調節機能が働かなくなって現れる症状を熱中症と言います。

熱中症かも…と思ったら早めの対応をすることで重症化を防ぐことができます。

◇熱中症が疑わしい人がいたら

- 涼しい場所へ
- からだを冷やす
- 水分補給



水分はとれるか

意識があるか？

自分で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を！

工事期間中は、安全を最優先に工事を進めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



6～7月の工事予定

- 6/継続 旧校舎内部解体工事
- 6/下旬～ 外部足場組立、環境配慮工事
- 7/月上旬～ 上部躯体解体工事

※上記予定は、天候等によりズレが生じる場合があります。